

外浦における自然を活かした子どもの居場所づくりと交流促進事業

NPO法人外浦の未来をつくる会

自然の中の安全な遊び場と、地域を越えた交流の機会をつくる



石川県珠洲市馬縹町（外浦）

事業の目的・背景

PURPOSE & BACKGROUND



背景

震災後の外浦では子どもの人数が大幅に減少し（2026年5月時点で小中学生4名・幼児1名）、公民館行事等の子ども向け支援や公共の遊び場も失われ、外遊びの機会が減少している。



目的

外浦の自然の中で安全に遊べる環境を確保し、県内外の団体との協働で交流の幅を広げるとともに、幼児・子育て家庭を支える居場所と家庭でも実践できる自然遊びのヒントを提供する。

対象

幼児から高校生まで

実施予定場所

まんまハウス
石川県珠洲市馬縹町6-84口

開催時期・回数

令和8年8月・9月・10月・11月 全4回
※冬季は道路損壊のため合同開催なし

具体的な活動内容

ACTIVITIES / SCHEDULE



8月 ライカ堂での交流会

もぐもぐの日

輪島市ライカ堂での交流会。おにぎりと白玉のデザートづくりを行う、幅広い年代対象の夏休みイベント。



9月 海や川で思いっきり遊ぶ一日

小学生～中学生

海や川で自然を発見しながら遊び、友達と協力して釜戸でごはんを作る、魚をさばく体験など。



10月 秋の自然遊び

幼児中心

干し柿やおはぎ作りなど、秋の恵みを使ったあそびを行う。



11月 海辺での石ころ拾い

幼児中心

宝探しのような石ころ拾いと、冬に向かう海の観察。拾った石はお絵かきや遊び道具にも活用する。

連携予定の団体・自治体

COLLABORATION



連携団体

一般社団法人ごちゃらあと

輪島の拠点「ライカ堂」を活用して協働事業を実施。

ライカ堂での交流イベントを1回開催し、場所の提供とスタッフの協働を行う。

一般社団法人mata-ne

プロのネイチャーガイドと連携し自然体験プログラムの幅を拡充。まんまハウスでの現地視察・プログラム作りに2名、当日リーダーとして1名を派遣。

任意団体「能登から始める自然と子どもを学ぶ研究会」

主に幼児家庭向けの自然遊び支援を強化。

まんまハウスでの協働イベントを2回開催し、各回スタッフ3名を派遣。



連携自治体

連携先・部署

珠洲市子育て支援課、珠洲市教育委員会

連携が必要な理由

保護者に直接プログラムの広報ができ、より多くの家族へ情報を届けられるため。

連携内容

チラシの配布、地域おこし協力隊にスタッフとして参加してもらう。

※ニーズ把握のための市町への連絡：連絡予定（8月頃）